

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービス クララキッズ			
○保護者評価実施期間	R年 月 日		～	R年 月 日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	現在、利用者はおりません	(回答者数)	
○従業者評価実施期間	R6年 9月 1日		～	R6年 10月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数)	3
○事業者向け自己評価表作成日	R6年 10月 31日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	3種の運動(1、体操 2、バスケ 3、サッカー)を混合してプログラムを組んでおり感覚統合、体のバランス、体の使い方、筋力強化等のオリジナリティあふれるプログラムになっております	集団活動を中心に成長に合わせたチーム分け、個別対応で支援を行い、より充実した取り組みになっています	得意や苦手を理解して特性に合った支援が出来る様、チーム一丸となって取り組んでいます
2	四季を感じる制作活動、社会性を養うためのイベント	制作では手の触覚や指を使うもの、想像力を養うような作品作りを意識しています。イベントは近隣との繋がりや社会的ルールを学べるような内容で行っております	制作やイベント企画で、食育や地域交流に繋がる様な事を検討しています
3	異年齢の関わりが持てる	特性や性格を理解した上で年齢の違う子ども達が一緒に関わる環境作りをしています	利用者様が自尊心を高めて行くために役割を与え活動の中で達成感を感じられるような機会を作っています

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	ご家族支援	ご家族との交流会が、まだ実現できていないのが課題です	保護者様やご兄弟が参加できる様な交流の場を検討しています
2			
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービス クララキッズ							公表日	R年 月 日	
		利用児童数	現在、利用者はおりません				回収数			
		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応		
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。								
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。								
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。								
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。								
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。								
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。								
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。								
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。								
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。								
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。								
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。								
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。								
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。								
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。								
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。								
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。								
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。								
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。								
19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。									

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。						
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。						
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。						
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。						
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。						
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。						
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。						
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。						
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。						
	29	事業所の支援に満足していますか。						

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		児童発達支援・放課後等デイサービス クララキッズ					
		公表日					
		年 月 日					
		チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	3		運動系発達支援を提供するため広さは十分に確保しています。自由時間には「動と静」の活動別にスペースを分けており、それぞれの場所の確保が出来ています	広い部屋を使用しているため利用者様が開放的になり元氣いっぱい遊ぶことができますので、目を行き届かせることが必要です	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	3		利用人数により職員を増員し、個別対応が必要な利用者様にも支援できるよう配置努力をしております	送迎が重なっている時間帯、一時的に人手が少なくなることがあり、利用者様の安全面と職員への負担を減らせるよう努力が必要だと考えております	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3		のびのびと活動していただく事を目的とし必要最小限の物の設置としています。視覚的な面からも理解しやすい様に掲示	全ての利用者様にとって安心と信頼を提供できるよう、必要な事があればその都度対応していきます	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	3		毎日の清掃はもちろんですが、毎年定期的に空調機や床マット等の清掃も続けており、アレルギーにも配慮しています。入室時の手洗いうがい、消毒、食事前の清潔に力をしております	年数の経過と共に生活汚れが目につくようになり、今後も利用者様に気持ちよく使用していただける様、衛生面に関して更に力を入れていきます	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	3		静かな環境が必要な時、クールダウンが必要な時等、必要な環境作りは個別対応でも実施しております	運動系の発達支援を行う時間帯は、事業所内は活気にあふれた状態であり、どんな時でも個別対応が出来る様、今後も一層努力していきます	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	3		週1回ペースで事業所内MTG、役職別会議を行い、その都度問題や課題について確認し合い、話し合いの場を設けています。後日課題についての進捗や振り返り作業を行い問題解決に努めております	MTGに参加が出来ていない職員にも可能な限り参加してもらい、全職員で事業所の課題や目標設定に向き合っていきます	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	1	2	ご意向の内容に対して、取り組めている事、改善が必要であることを検討し、MTGや共有システムで職員へ情報共有し、業務改善できるよう努めています	職員に業務改善について共有した後、経過等を追い、改善が必要なことは再度問題解決に向けた対策案を検討し実行していきます	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3		朝礼やMTG以外でも、毎日の活動内容を共有する場を設けており、職員との意見交換は活発に行っております。1 on 1 MTGの機会も設けています	職員からの意見は貴重であり問題発見に繋がるため、今後もより一層力を入れていくつもりです	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		3	法人内の事業所が集まり、イベントやMTGの場を定期的に設け、他事業所目線からの評価が出来るようにしています	現在第三者、外部評価は行っておりません。必要であれば検討をしていきます	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	3		職員の資質向上のため法人内での研修を積極的に行っています。法人外の研修にも数多く参加させていただいています	受講後のフィードバックを報告だけでなく、より多くの職員へ共有し、職員全体の資質向上に向けていきたい	
適切な	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。		3	HPへの支援プログラム掲載、公表に向けて法人内で只今準備を行っております。	HPを閲覧していただく際に分かりやすい情報を掲載するため、熟考しております	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	3		個別支援計画書の切り替え時期にアセスメント表と面談で情報収集させていただきます。支援会議では指導員からの意見も取り入れ正確な分析が出来る様に努めています	今後もより良い支援のため保護者様、利用者様のニーズを正しく把握し、支援者側の目線ではない計画を作成していきます	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	3		複数の支援者の声からモニタリングを行い、利用者様の状態をしっかりと分析した上でニーズと成長に合わせて計画内容を検討しています	支援する側としてこどもの最善の利益を考慮し、特性を理解した支援が出来るよう、研修やMTG等で職員育成にも力を入れていきます	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3		支援内容をを一覧表にまとめ、すぐに確認ができる様式を作成しております。モニタリングを複数回に分けて行い、支援の確認も同時に行っています	日頃から職員間で支援についての意見交換を頻繁に行っているが、途中経過中のモニタリング時に計画内容を再確認し支援の見直しをしていきます	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3		周囲へ影響が出る行動を起こされる利用者様は特に行動分析を行い、背景を確認する作業等を行っています	全職員が理解出来る様、研修に取り入れていく事を検討します	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	3		ご家族様への支援、移行支援につきましては利用者様の状況を把握した上で検討し作成しております。地域支援や地域連携は今はまだ関わりのある関係機関は多くはありませんが、近い所からできる範囲で始めています	地域支援、地域連携についてはこれから連携できる事業所様を増やしていく努力が必要であり、具体的な計画が立てられることを目標としています	

支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	3		主にリーダーを担当する職員が週間予定を作成し、全職員が活動前に確認ができるシステムにしています。立案に対してにチーム別で事前に最終確認をしています	プログラム立案のため、固定化していかない様に定期的に複数人で会議を行い計画立案していくことを検討中です
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	3		成長に合わせたチームでプログラムを組んでおり活動内容が固定化しない様、複数種類の内容から決定しております。他にも支援の幅を広げるための準備を行っています	障がい特性に応じた内容や理解しやすい支援方法で指導ができる様、チーム制で考案していきます。新しい分野にも注目し検討を重ねております
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	3		集団療育を中心としている中で個別対応が必要な利用者様とチーム分けして対応しています。最近では成長に合わせて活動する機会を多く設け、個別対応の支援が来ています	集団活動では難しい利用者様がおられるため今後は個別プログラムについても検討していく必要性を感じています
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	2	1	毎日必ず、支援開始時までに当日の活動内容と役割分担を確認し、チームで連携して支援を行っています	当日の活動内容についてチームごとの確認作業や連携は定着しているが、データ化した記録を基により細やかな支援を行えるよう考案していきます
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3		支援終了後にグループ別の担当職員で気づいた点や反省点等の共有は来ています	支援終了後の共有はグループ別では出来ているが、全体の振り返りや共有としては課題を感じております
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	3		サービス提供記録や支援の記録を元に細やかにモニタリング記録を残し、支援の改善に繋げるようにしています	利用者様の利用回数の差で支援データに偏りが出る事があり、検証・改善に難しさを感じることがあります
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	3		定期的なモニタリングを行っており、計画の見直しが必要だと判断した場合は再計画を行っています	見直しの必要が起きる場合は、成長が著しい時から方向性が違ってくる事があるため、利用者様の状態を見逃さない様にしています
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	3		放課後、休校日、長期休暇中など日常生活の充実、創作活動、地域交流、余暇活動を意識した内容でプログラムを組んでいます	これまでの活動に加え、新たに自立支援を目的とした内容の活動を取り入れており、今後幅を広げた内容を企画し支援の強化を図ります
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3		おやつや選択、余暇活動で遊びの選択、活動に関する事等を通して自己決定できる環境を提供しています	各種活動の中で自己決定、自己選択の機会を取り入れていき、自己決定する力の強化を図っていきます
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3		関係機関との会議の開催があれば必ず参加させていただきます。出席者は事前に多くの職員からの聞き取りを行い、正確な情報収集ができるよう努力しております	会議への参加に限らず、通常から利用者様の状況やご様子の把握に努めていきます
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3		医療や基幹相談支援センター等と連携体制として整えております	体制は整えていますが、実際に連携する機会がまだありません
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
	29	地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	30	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)				
	32	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。		3	これまで事業所として交流できる機会を設けておりませんでした	特性のある利用者様がおられるため、どのような手段で機会を設けるかが課題です
	33	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		3	これまで参加の機会はありませんでした	今後機会がありましたら是非参加させていただきたいです
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	3		アセスメントや送迎時の際に、利用者様の状態やご様子を伝え合い、課題等の共通理解に努めています	今後も積極的に保護者様との連携を取り、利用者様の発達や状況理解が出来る様に努力していきます
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		3	ご家族支援プログラム企画として、現在企画案が出ている状態です	家族支援プログラムとして、今後実施していく事が課題です
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	3		ご見学時やご契約時に丁寧な説明を心がけて行っております。	支援プログラムに変更があった際にもお伝えしていくようにします

保 護 者 へ の 説 明 等	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	3		保護者面談や送迎時、日常の中でご意見等を伺う機会を設けています	ご利用時に全ての意向を踏まえた内容まで行き届いておりません
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	3		個別支援計画書の切り替え時に個々に説明し同意をいただいております	ご家庭のご都合によりお時間を確保いただく事が難しいと感じる時があります
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	3		ご相談やお悩みがあった際は、現状を確認し必要な情報を集め、面談やお電話による助言を行い、ご家庭と連携を取りながら支援させていただいております	多くのご家庭からご相談しやすい事業所として認識していただけるよう周知していきたいです
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		3	まだ父兄会の実施はできておりません	各ご家庭の思いや情報、ニーズを正しく把握し、ご希望に沿った内容で交流の場をご提供できるよう企画、運営を検討中です
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	3		ご意見が挙がった場合は、迅速に対応しご納得していただけるよう努力しています。職員へ当日中に周知し再発防止に努めております	日頃から職員間の報連相を強化し、早期問題発見、解決に繋げていきたいです
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	3		HPやSNSを通じて活動概要や活動報告のブログを定期的に配信しております	これまでの配信の見直しも行っており、今後より充実した内容で配信していきます
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	3		ご家庭への配布物、書類関係、連絡帳等の取扱いについて、間違いが起きないようにチェック体制を強化しております	重要書類の取扱いについて、職員へ周知徹底をより強化していきます
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	3		個々の特性を理解し、個別対応、視覚的な支援、感覚過敏等に配慮しながら必要に応じて支援を行うようにしております	集団で活動することが多いのですがその中で特性に応じた支援、環境への配慮、個別対応にも力を入れて今後も取り組んでいきます
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		3	これまで地域の方々をご招待することは無く、今後は地域との繋がりについても意識して検討していきたいです	集合住宅の一部に事業所がございますので、騒音等のご迷惑をおかけしないことを念頭に置いて検討していきます
非 常 時 等 の 対 応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	3		マニュアルに基づいて毎月職員、児童混合の訓練として、今後起こりうる非常災害を想定した内容で実施しております	通常の活動時に発生する災害について訓練を行っているが、想定外として外出時の非常災害についても視野にいれていきます
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	3		BCP（業務継続計画）の内容に沿った訓練を定期的に行っており、実際に消防にも依頼し本格的な訓練も出来ました	今後も引き続き、非常災害に向けた実践的な訓練を定期的に行う必要を感じております
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	3		ご契約時に保護者様に確認し、フェイスシートにも記録を残しております。てんかん発作の対応についても職員へ周知しております	服薬や予防接種については変更が起きることがありますので、今後も保護者様と連携を取りながら利用者様の体調管理に努めたいです
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3		アレルギー情報はご見学の時点から保護者様に確認させていただき、利用者様の健康管理を行っております	食物アレルギーがある利用者様のリストを職員の目につく場所に張り出していますが、定期的に確認作業を行っていきます
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	3		利用者様の安全を第一に考えて運営をおこなうために、年間計画として事業所内外の危険を想定した安全計画を立て、管理を行っております	今後もあらゆる方向からの安全を意識し、今後も引き続き安全な運営が出来るよう管理を行っていきます
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	3		安全計画の面では毎月の訓練の状況を連絡帳等で報告させていただいております。	安全計画としてはご家族様への周知には至っておりません。今後、非常災害の件と重ねてお伝えしていきます
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	3		危険が予想される案件、実際に起きた事例に対し早急にヒヤリハットを作成し全職員へ周知し、再発防止に努めています	ヒヤリハット作成にあたり、その後の追跡として研修等の機会を設け、更なる再発防止に繋げていきます
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	3		虐待研修を毎年行い、個々の特性や関わり方について明記した個人ファイルを作成し全職員に周知しております	個人ファイルの活用、虐待研修での周知以外でも、日頃から関わり方等について職員へ指導を続けていきます
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	3		やむを得ない場合の身体拘束についてご契約時に保護者様に説明しております。まだ身体を拘束することはありません	身体拘束を必要とする場合の決まりは職員へ周知しております